

## 北広島市総合計画策定に伴う意見交換会【道都大学学生】 会議録

\*\*\*\*\*

■日 時 平成22年2月5日（金） 16時15分～18時

■会 場 道都大学2号館第1会議室

■出席者数 11名（学生 男性7名、女性3名、教員1名）

■市側 高橋通夫企画財政部長、木下信司総合計画課長、  
前野康弘総合計画課主査、川村裕樹総合計画課主任

\*\*\*\*\*

### ◆開 会

### ◆企画財政部長あいさつ

### ◆市職員自己紹介

### ◆道都大学側挨拶

【教員】私は7月から北広島市長期総合計画審議会委員を務めている。道都大学は、社会福祉学部、経営学部、美術学部の建築学科、デザイン学科と3学部4学科となっている。専門性のある大学であり、スポーツも盛んな大学である。学業も当然のことながら、スポーツに関する活動、製作に関する活動、社会福祉学部では、色々な社会福祉施設に実習に行くなど、社会とのかかわりはそれなりに持っていると思う。改めて北広島市のまちづくりについて考えることは普段あまりないかもしれないが、本日は学生の皆さんの考えを積極的に発表していただきたい。堅苦しい場にならないよう、リラックスして意見交換してもらいたい。

### ◆道都大学生自己紹介

### ◆総合計画概要について

総合計画課長より説明

### ◆意見交換

#### (1)人口増加策について

【教員】国や北海道の人口については減少傾向である。北広島市は若干減ってきてはいるが、減少率は全国的に見ても大きくない。北海道の中で見ても非常にいい状況だ。その

原因は何かと考えたら、札幌市に近いということ、千歳空港に近く、高速道路も走っているなど、交通の便が非常に良い。もっと他に北広島市の人口を増やす手立てはないか。人口はまちづくりの基本である。人口が減ってくるとまちの活気がなくなり、衰退していくのは当然である。まちを将来的に希望をもって発展させていくためには、人口を増やすということは大切だろうと思う。このテーマに関して学生の意見を発表してもらいたい。

**【学生】** 総合計画を読んでいて気になるところがあった。市民の意識のところでは、住みにくい理由として交通の便の悪さをあげている。しかし、まちの特徴の部分では、交通の利便性が高いと記載している。これは矛盾しているのではないか。市民の意見と市の意見が矛盾しているように感じる。私は手稲から北広島市に通っているが、快速が止まるので非常に便利である。車も運転するが高速道路も近いし便利である。交通の利便性が高いということは納得できる。しかし市民はそう思っていない実態がある。なぜ市民が交通の便が悪いのかと考えたら、大学に来るときはシャトルバスで来れるが、乗り遅れたときは徒歩になったりして、バスの本数が少ないと感じている。バスの実態が良さそうで良くないのではないか。

**【市】** その通りだと思う。高速道路やJRなど交通の利便性はとても高いと思う。しかし、交通の便が悪いと感じている方は、市内での移動がしにくいと感じているのではないか。バス路線については、北広島市内では相当充実している実態がある。札幌市に近いということもあるが、他市に比べても充実している。北広島市内のバスは民間会社が運行しているが、採算がとれないとバスの本数は増やせないというのが現実である。確かにバスの便が少なく、お年寄りなど外出に不便だと感じる方はいると思うが、便数を増やしたからといって客数が増えるのかということは難しい問題だと思う。これからは、民間企業だけが運行する路線バスに頼るのか、違う手法で市内で移動したい人達をカバーするのか、買い物や病院へ行きたいお年寄りをどう助けるかなどについては現在検討を始めている。

**【学生】** 今の意見と同じところもあるが、北広島市に20年以上住んでいて思うのが、市全体を見て交通の利便性が高いと知っているのはわかるが、私は車の免許がなく、とても不便を感じる。車がないだけで、大曲方面には行けない。バスについては高校時代に使っていたが、冬になると時間が遅れたりしていい印象をもっていない。年をとったら病院などが近くにある札幌市へ住みたいと思ってしまう。北広島はとても広いので、もっと大きい交通施設を増やせたらいいと思う。

**【市】** 市としてもそういった状況は認識している。経済活動を展開する上での交通体系基盤は整備されているが、市民が市内で移動するときの手段については、本当に便利なの

か考える必要がある。公共交通機関だけに頼って生活していくのは難しい時代になってきている。特に民間バス会社は事業として運行しており、採算の問題が常に発生してくる。したがって、新しい路線をつくるということは非常に難しいと思う。これから少子高齢化により高齢者が増えてくる。市民の全員が満足するという交通体系は難しいと思うが、ある程度我慢できる範囲で市民との協力のもと、これから議論を進めていきたいと思う。できるだけ市民の生活に支障をきたさないような交通体系を考えていきたい。これからのまちづくりの大きな課題であると認識している。

**【学生】** 札幌市は地下鉄があり、天候に左右されない。北広島は自転車を利用するにしても、坂が多くてきつい。歩道の除雪があまりされていない。冬は凍結して高齢者など危険である。地下鉄を通すとしたとき、地質的な問題として地層などの調査はしたことがあるか。

**【市】** 地質の調査はしたことはない。地下鉄については現実的ではない。札幌市の地下鉄は公営企業として運営されているが経営は厳しい状況である。北広島市程度の人口では、仮に地下鉄を通したとしても経営は成り立たないだろう。

**【学生】** バスや地下鉄などは移動するためだけに利用していると思うが、もっと違う発想で、移動中を楽しめる景色の創出などを考えることはできないか。美しい木が並んでいる道があるなど、それだけで移動が楽しくなると思う。楽しんで移動すれば多少の交通の便の悪さはカバーできるのではないか。地下鉄は地下を走っていて景色もなく、何も楽しくない。移動を通してまちを知る、見るということができれば、交通についてはそんなに問題ではないと思う。

**【学生】** 西の里では、小児科や産婦人科などが見当たらない。市外から引っ越してくる人はそういった医療機関については慎重になると思う。人口を増やすためには、今ないそういったものを補っていく必要があると思う。

**【市】** その通りだと思う。北広島市内に現在産科は1件もないのが実態である。小児科は団地に2件、大曲に1件ある。全市的には病院の数は他市と比べても遜色がない。

**【学生】** 静岡からきたが、最初の北広島市の印象は買い物をする場所がないと感じた。北広島には商店街はあるのか。駅の周辺は力を入れていると聞いて見てみたが、あまりそうとは感じなかった。商店街があれば人は自然に集まると思う。私の出身地では現在駅周辺の開発に力を入れている。駅ビルやショッピングモールなどを作って、他市からも人を呼び込んでいる。北広島も商店街を作れば、自然と人が集まってくると思う。

**【市】** 市が呼びかけをして商店街ができればいいのだが、あくまでも民間企業なので経営のことを考えるとなかなか難しいと思う。札幌市に近いために購買力が流れてしまっているのが実態である。

**【教員】** 交通の便が良いということは、人が出て行くということである。例えば東北では新幹線ができたことによって買い物をするのに仙台まで行ってしまふ。盛岡や山形の地元の商店街がみんな衰退してしまっている。つまり交通は人の移動を促進し、出て行くための便利がある。もう一つは、人が日常生活をしていくためにとどまるという交通があり、これは別である。これからはバスの本数を増やすということだけでは先が見えていと思う。新たな交通システムを考えていく必要があると思う。それは皆さんがこれから真剣に考えていく必要があると思う。まだ根本的に解決するシステムを見出しているところはないと思う。公共交通機関は規制が強い。停留所の場所を移動するだけでも手続きが大変である。法制度の問題もあるが、その地域にとって必要な交通体系はどうなのか真剣に考えるときだと思う。これからの将来、皆さんにとって大切なテーマだと思う。

## (2)人口増加策について

**【学生】** これからのまちの魅力を高めていくには、医療、安全、治安が大事だと思う。札幌市のベッドタウンとして、新しいイベントをやるよりも、今あるものを、例えば病院などを減らさないようにすることや維持することが大事だと思う。人を呼ぶ手立てになると思う。人口は他から入ってこないと思えないと思う。安心して暮らすための施設の充実が大事だと思う。

**【学生】** 北広島市の魅力は原始林だと思う。西の里ではあまりないと思う。点としていいと思うところはあるが、まとまっていない。買い物や遊びに行くときは、新札幌などに行くことが多い。上野幌駅周辺はとても寂しいと感じる。駅の周りに市の名物があればいいと思う。個人的には商店街があったらいいと思う。

**【学生】** 今日もらった「きたひろマップ」には、市の魅力がたくさん入っている。社会人よりも学生の方が時間もあり、交流関係も広いと思う。もっと学生にPRしたらいいと思う。市の魅力はたくさんあると思う。学生を通じてどんどん伝える手法など、積極的にPRしていくべきだと思う。今の状態ではPR不足だと思う。

**【市】** 確かにPRについては不足していると思う。魅力はたくさんあると思うが、それに気づかない、うまく市外にPRできていないと思う。

**【学生】** 道都大学は面白いと思う。野球、サッカー、ラグビーなどスポーツが強くて盛んである。ただし、地元との交流がほとんどないのではないかと。もっと大学生との交流の場を増やしていけばいいと思う。美術をやっているが、地元の高校生と会うのはオープンキャンパスのときに希望した生徒ぐらいである。会う機会がない。美術や建築など面白い授業や活動をしている。交流の場を設けることによって、大学も市も魅力づくりにつながるのではないかと。シルクスクリーンという版画をやっているが、施設としては北海道で一番で、全国でもひけをとらないぐらい設備は充実している。地元の中学生や高校生にもっと知ってもらえれば、まちとして楽しくなるのではないかと。思う。

**【市】** 先ほど学長とも話をしたが、もっと交流をしていきたいと思う。市役所はもちろんのこと、市民との交流も市役所を通じて進めていきたいと思う。色々な活動のために市の施設もどんどん使っていただきたい。市でもお手伝いしたいと思う。

**【教員】** 野球部は地元との交流はあるのか。

**【学生】** 地元の中学3年生を対象に野球教室を実施したことがある。

**【市】** 市のスポーツアカデミーの一環で協力していただいている。

**【学生】** 地元の高校生と室内練習場で練習することもある。大学の野球部の人数が多く、室内練習場だけでは狭い。

**【市】** 小学校の体育館などでの練習は可能なのか。

**【学生】** 硬式ボールを使用するので体育館などの破損が心配で使用していない。

**【市】** 団地内の小学校が統合され、空いた校舎の体育館などを使用することも可能となるかもしれない。

**【学生】** そうなると大変ありがたい。

**【学生】** きたひろマップに季節ごとのイベントが写真で紹介されているが、ふるさと祭りだけではなく、ひろどん祭りやコスモス祭り、神社のお祭りなど、小さいときはとても大きなお祭りで盛大だった。道路を通行止めにして祭りを実施していた時期もあったと思う。夏はとても楽しかったが、いつのまにか小さくなっていった。ファミリーで参加できるイベントが小さくなったと感じている。全体的にイベントのレベルが下がっていると感じている。

**【市】** 総合計画審議委員の中でも同じようなことを発言している方がいた。考えられる原因としては商店街の元気がなくなってきているのかもしれない。

**【学生】** ふるさと祭りも昔のほうが盛大だったと思う。

**【学生】** 帯広では勝毎花火など大きなイベントがあり、他市からもたくさんの方が来ている。北広島市にも大きなイベントがあるといいと思う。

**【学生】** 富良野ではへそ祭りがある。大人が楽しめる祭りである。北広島でも大人が楽しめる、発散できる祭りがあればいいと思う。

**【学生】** PR不足についてだが、北広島市には何があるかと質問されてもピンとくるものがない。函館ではイカ、帯広では豚丼だったりまちの名物がある。北広島市にもPRできる食べ物を開発してはどうかと思う。マスコットキャラクターがないので、作ってはどうか。もしあるのであれば積極的にPRしていくべきだと思う。

**【市】** エルフィンというキャラクターがある。

**【学生】** 市のホームページを見ても積極的にPRしてるようには見えなかった。

**【学生】** 出身の帯広では、近所で小さい祭りがあって、まちの人全員が出てくるようなお祭りだった。小さいお祭りもいいが、大きなお祭りを1つ作ってはどうか。市を紹介するマップなどに学生の意見なども取り入れてはどうかと思う。若い人達が見やすいものを作ってはどうかと思った。

**【教員】** 以前北広島団地について調べたといっていたが、そのとき感じたことはないか。

**【学生】** 団地は景観について考えて作られたものでなく、現在はあまりいい景観とはいえないと感じる。特に車庫通りについては夜になると怖いと感じる。団地の周りには緑があるが、中側にはあまりなく、公園などを配置していけばいいと思った。

**【市】** 役所が実施するイベントや講演会などのポスターは自前で作っているが、そういったもののデザインを学生に頼むことはできないかと思っている。

**【教員】** どんどんやらせるべきだと思う。

**【学生】** 授業の一環としてそういったことを経験できるというのは大変いいことだと思う。

役所で、例えばマスコットキャラクターやデザインなどについてコンペを開いてもらい、学生がそれに参加するのもいいし、仕事として依頼されるのもいいと思う。

**【市】** ぜひそういったことを実現したいと思う。市役所で年度当初に全部局に紹介してどういった事業が予定されているのか、学生が関われることはないのかを調査して進めることを考えていきたい。いい作品はどんどん使わせていただきたい。

### (3) 総合計画全般について

**【学生】** 北広島市は自然が多く、エルフィンというのもそこからきていると思うが、藤枝市は藤の花を前面に出してPRしている。北広島市は全体的にPR不足だと感じる。エルフィンパークでイベントをやっているが、実際何が行われているのかがわからない。

**【教員】** 広島県との関係で1年の中でつながり、関係があるというものは何か。

**【市】** 子ども大使や姉妹都市交流、スポーツ交流、お互いの祭りに関係者が参加している。

**【学生】** 市の施策を進める上で大きなお金が動いていると思うが、成人式の記念品がひどすぎると思う。もらった記念品をそのまま置いて帰る人もたくさんいた。そういうものにお金をつかうのであればいらないと思う。記念品を入れてある大きな封筒も持ちにくくなんとかしてほしい。

**【市】** 担当しているところに伝える。

**【学生】** 市役所近くの高架下に落書きがずっとある。見栄えが悪いのでなんとかしてほしい。

**【市】** これから市では原案を示してパブリックコメントとして市民の意見を募集することとしている。今日の意見交換の中で、これはしっかり伝えたいというものがあれば、その時に提出していただきたい。また、今日の意見交換で出た内容についてはしっかり持ち帰って担当部局に伝える。

**【教員】** 3月1日にパブリックコメントの募集が始まったときには、その方法について教えていただきたい。また、3月11日に芸術文化ホールで総合計画フォーラムが開催されるので、興味がある人は連絡してもらいたい。

**【市】** 総合計画フォーラムのチラシができれば届けることとする。

**【教員】** 青春の4年間をたまたま北広島市にいたということではなくて、自分がいた足跡が5年、10年経過したときに感じるができるということが素晴らしいことだと思う。今後色々と若い意見を言っていくべきだと思うし、言った意見の責任も持っていかなければならないと思う。大学としても学生を支援できることは支援していきたいと思う。

◆閉 会